

横浜市久良岐能舞台 令和5年度指定管理業務評価（外部評価）

	張委員	諸貫委員	横山 太郎委員	横山 直子委員
使命1 能、幅広い市民に能、狂言その他の古典芸能を広める	<p>【評価できる点】</p> <p>若い客層の掘り起こしと、古典文化の伝承のため、15年間「狂言鑑賞教室」を続けてきたことに、施設運営側の情熱を感じます。また、それが地元に着し、2023年度に磯子区内の全小中学校は「狂言鑑賞教室」に参加することになりました。このような地道な努力が65歳以下の参加者の増加に繋がったといえます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>上記の取り組みで、「お客さん」との最初の接点を作ることができました。今後は、2回目への参加に誘導するような仕掛けを期待しております。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>実施された事業に幅広い年齢層の方が来場し、とりわけ初めて来場する人が5割近い新規参加者であることを評価します。能・狂言のみならず様々に工夫を凝らした催事を実施した成果かと思えます。また、長年続けてこられた児童向けの狂言鑑賞教室は内容も素晴らしく高く評価したいと思えます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>児童向けの鑑賞教室は、狂言だけでなく、可能であれば能についても検討していただきたいと思えます。また、好評を博した能装束展については1日だけでなく、複数日の開催をご検討ください。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>新規参加者の増加と65歳以下の参加者割合の増加を評価します。狂言鑑賞教室を15年間にわたり継続し磯子区内の全小中学校参加を達成したことも素晴らしいです。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>小学校の狂言鑑賞教室という絶好の機会を活かして児童やその保護者を施設利用に誘うアプローチができるとういと思えます。前年度はクラシック音楽、今年度は落語と舞踊と義太夫を組み合わせた公演に初参加者が多かったように、複数分野のコラボレーションは新規開拓の鍵だと思います。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>新規来館者および若い世代の参加者増を達成されたこと、達成に向けた重要な取組の一つが「学校プログラム」であり、これをCSRの見地から指定管理者の財源で実施している点を評価します。</p> <p>年齢三分による指標の設定は明快かつ妥当性があり、特に年少人口の参加割合が高いことは、今後の生産年齢人口の参加拡大を牽引するものと期待できます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>アンケート結果やSNSでの発信の反応等のデータから、リピーターおよび新規来館者それぞれのニーズを把握し、今後の展開に活かすことを期待します。</p>
使命2 能楽等に携わる人材を育む	<p>【評価できる点】</p> <p>施設利用団体が必要とする人材を施設運営側が紹介する取り組みは、共存共栄の関係を築き、双方にとって利益があります。ぜひ続けていただきたいです。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>学生などに施設に来ていただくことも良いのですが、次のステップとして、学校などに出向いて、こちらからアプローチするような企画を行うのもいいかもしれません。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>能楽その他の講座を実施して人材育成に尽力されていることを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>受講生の募集に苦慮されているようです。ぜひ市や近隣の学校とも連携して多くの受講者を集めることを期待します。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>利用団体のメンバー募集をサポートしたことを高く評価します。浜小学校から施設見学に来た児童を、狂言公演に招待したことも、点を線にする試みで良いと思えます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>伝統芸能の稽古者や観客になるのはますます難しくなると思えます。次の「使命3」のコメントでも述べるように、その手前の「なんとなくここによく来る人」が増えて、それらの人を稽古団体につなぐ道筋ができるとういのではないのでしょうか。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>伝統芸能にかかる講座を幅広く継続的に展開されると共に、継続受講の割合を高い水準で維持している点、利用者・利用団体との密なコミュニケーションにより、現状と課題の把握に努めると共に、その支援に取り組まれている点を評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>高齢化の課題が顕著であり、対応への第一歩が現状把握および情報の蓄積であると考えます。課題への対応にあたっては、中長期的な視点に立ち指定管理者と横浜市とが連携し、例えば学校の部活動へのアプローチなど、新たな取り組みに展開されることを期待します。</p>
使命3 能楽等をはじめとする市民の活動の場となる	<p>【評価できる点】</p> <p>メールによる問い合わせの増加と、茶室の稼働率が目標を大幅に上回った点を評価したいと思います。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>取り合わせの内容から利用者のニーズをすいあげ、分析するといった、「問い合わせ」から「利用」につなげる工夫があると良いと思えます。SNSといったソーシャルメディアの活用は、ますます重要になってくると思えます。今以上に工夫（例えば、外国語で発信することや、話題性など）を考える必要があるかもしれません。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>数年ぶりに市民の活動の場として「久良岐まつり」が実施されたことを評価します。また、貸館稼働率は、能舞台・茶室の目標を達成されたことを評価します。メールフォームを設置して貸館利用の相談件数が増加していることと連動、将来にとっても明るい兆しがあるものと思われま。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>市内の横浜能楽堂が改修に入りましたので、その利用の受け皿として貸館が増加することを期待しております。また、撮影での施設利用が増加していることは望ましい傾向ですので、ぜひ広く周知してさらに増加するよう期待しております。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>貸館問い合わせが前年比で2倍、茶室稼働率が当年指標比で2倍になっていることを高く評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>文化政策学では、文化施設を市民に利用してもらうために、施設の本来用途と関係なくまずは居場所となることが重要だという考えがあります。たとえばいわき芸術文化交流館アリオスは、高校生がそこで勉強することを「アリ勉」と呼んで、SNSのハッシュタグにして親しんでいます。久良岐能舞台においても、目的を持った「利用」ではなく、「居場所」という視点も必要ではないかと思えます。</p>	<p>【評価する点】</p> <p>来場者数増、貸館利用率が上昇基調となったこと、また、「メールフォーム設置」の新たな取組により貸館利用の相談等の件数増を達成したことを評価します。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>総来場者数について、前年比ベースでは目覚ましい成果を達成されています。リピート率向上により、低稼働基調にあった和室・茶室の稼働を改善しています。目配りし得る範囲の改善策は講じられていると拝察されることから、SNSあるいはマスを含むメディアの効果的な活用に向け、まずは現状の効果分析に取組まれることを期待します。</p>

横浜市久良岐能舞台 令和5年度指定管理業務評価（外部評価）

	張委員	諸貫委員	横山 太郎委員	横山 直子委員
使命4 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける	<p><b>【評価できる点】</b> 近隣地区を対象とする事業であるにも関わらず、参加者の半数が近隣地区以外からの参加であることに、驚きました。アクセスが決して便利とはいえない立地から考えたら、こうした事業は波及効果をもたらしているといえます。ぜひ今後も実施していただきたいです。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b> まだまだ久良岐能舞台を知らない近隣の方がいらっしやると思います。2024年度には2事業を実施する予定のようなので、今年度以上の成果を期待しています。</p>	<p><b>【評価する点】</b> 市内施設と連携・協力していることを評価します。施設の特性である自然や環境を生かした取り組みによって地域の人々の交流の場とされたことを評価します。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b> さらに広報周知を行って一層来場者が増加するよう期待します。</p>	<p><b>【評価する点】</b> 久良岐まつりの実施を評価します。栄区公会堂に古典芸能公演の協力をするなど、地域の施設間の連携も良い事例でした。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b> 施設間連携をさらに進め、点ではなく面で文化芸術に親しむ空間を作っていただきたいと思います。SNS等で相互の活動を紹介し合うといったネットワーク活性化も大事でしょう。</p>	<p><b>【評価する点】</b> 何れの指標も達成していると共に、地域との連携を日常的に実施され、今後も持続的に取り組む土壌を育まれている点を評価します。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b> 数年ぶりに開催した久良岐まつりをきっかけとする新規来訪者のリピート状況等、データを活用し、今後の方針検討に活かすことを期待します。</p>
使命5 持続可能性を高める施設運営を行う	<p><b>【評価できる点】</b> こまめに施設をケアすることを通じて、施設の状況を随時に把握し、大規模な修繕を回避することができただけでなく、2023年度の修繕費と清掃費が予算を下回り、大幅な節約にも繋がりました。評価に値する取り組みです。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b> このような取り組みはぜひ引き続き実施してください。また、台湾リスによる被害を食い止める方法は、改めて検討する必要があるかもしれません。</p>	<p><b>【評価する点】</b> 職員の適切な配置、ボランティアスタッフの活用により、施設の維持管理に努めていることを確認しました。点検、小破修繕など支出の抑制に努めている点は評価できます。また、インバウンド向けの催事によって収入の増加を検討されていることを評価します。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b> 収入増加に向けて助成金の獲得に取り組むことを期待します。</p>	<p><b>【評価する点】</b> 日頃の点検・修繕など堅実に運営していると認めます。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b> 補助金獲得を目指していただきたいです。</p>	<p><b>【評価する点】</b> 老朽化が進む中、日常的にきめ細やかな目配りを実施することが予防保全的効果をもたらしていると考えられます。また、指定管理者の判断に基づく小破修繕の自主対応、定期清掃・設備点検の一体的対応等、指定管理者制度ならではの民間裁量を最大限発揮し、効率化に向けた策を講じていることを評価します。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b> 補助・助成へのアプライをはじめ、財源確保に関する改善に向けた新たな取組に期待します。</p>
使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する	<p><b>【評価できる点】</b> コロナによる影響を想定し、その想定に基づいて、事前に対応する方法を用意しておくという考え方は、堅実で高く評価したいと思います。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b> 特にありません。</p>	<p><b>【評価する点】</b> 館内照明のLED化により電気代の削減がなされたことを評価します。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b> 特にありません。</p>	<p><b>【評価する点】</b> 適切に配慮していると認めます。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b> 特にありません。</p>	<p><b>【評価する点】</b> 新型コロナウイルスが5類に移行された現在も、支障なく施設運営に取り組まれているものと評価します。</p> <p><b>【更なる取組を期待する点】</b> 特にありません。</p>

横浜市久良岐能舞台 令和5年度指定管理業務評価（外部評価）

	張委員	諸貫委員	横山 太郎委員	横山 直子委員
その他	特にありません。	特にありません。	特にありません。	特にありません。
総括	<p>アクセスが決して便利とはいえない立地であるにもかかわらず、黒字決算でした。大いに健闘した一年間といえます。</p> <p>利用料金収入と自主事業収入は目標に届きませんでした。その原因を分析し、今後の改善に繋げる必要はあるものの、費用の使い方に工夫をこなし、大幅な削減に成功しました。今後は、引き続き「節流」をしながら、「開源」を考えていただければと思います。</p>	<p>全般的に各使命を意識した活動をされており、市民の文化活動へ貢献されているものと評価したいと思います。地道に運営する面は継続されつつ、立地面、人員面、予算面等の限界があるなかでも、様々に工夫をされていることが分かります。引き続き施設の特徴を生かした催事を実施するとともに、市民への周知を積極的に実施していかれることを期待します。</p>	<p>交通アクセスの面で不利な条件のあるなか、できることを堅実に実施していると評価します。それぞれの使命を果たすためにアンケートで適切に状況把握に努めていることも、よくわかりました。なにしろ交通アクセスが根本的な制約になっていますから、これについては行政とも相談のうえ一般駐車場スペースの設置を検討してよいのではないかと思います。</p>	<p>「敷居は下げずに、跨ぎやすく」という方針に相応しく、新規来館者数の増加に貢献する取組みのみならず、古典芸能にかかる講座を継続的に開催し、利用者に直接はたらきかけるなど、リピート率を高める取組と両輪で実施されている点を評価します。近隣エリアをターゲットとするマーケティングは選択と集中の点からも妥当かつ優れた成果に結びついています。</p> <p>ウエディング等、目的に適う利用についてはアクセスを問わず選ばれる施設となっていることから、新規来館者の獲得に向け、近隣だけではなく層に向けた本施設のアピールに取組まれることに期待します。</p>

令和5年度 横浜市能楽堂 久良岐能舞台 指定管理者 業務計画表兼評価表

評価項目		指標					実施状況		評価		
施設の使命を達成するための取組	通番	指定管理者提案	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	実績	説明	自己評価	行政評価
使命1 幅広い市民に能、狂言 その他の古典芸能を 広める	1	磯子区・南区・港南区の属性別総人口比に対する年齢別の事業参加者の比率(業務の基準で設定している定量指標①)	0~14歳:5% 15~64歳:45% 65歳以上:50%	0~14歳:5% 15~64歳:45% 65歳以上:50%	0~14歳:6% 15~64歳:46% 65歳以上:48%	0~14歳:6% 15~64歳:47% 65歳以上:47%	0~14歳:7% 15~64歳:48% 65歳以上:45%	0~14歳:17% 15~64歳:47% 65歳以上:36%	能楽等、伝統芸能以外の事業も実施することで、若い世代の参加者増を図った。その結果、65歳以下の若い世代からの参加者が増加した。	【成果】 ・これまで、能楽等伝統芸能に関する公演は、リピーターの参加者が多く、新規のお客さまは少ない傾向にありましたが、今年度はすべての事業において、「初めて参加した」という方の割合が増加しました。久良岐能舞台の知名度が向上していることを実感しましたので、今後も知名度向上に向け、様々な事業の実施と広報活動に取り組んでまいります。 ・近隣3区(磯子区・南区・港南区)の小学校を対象に「小学生向け狂言鑑賞教室」を実施。10校875名に参加いただき、次世代育成に貢献しました。 【課題】 ・初めて事業に参加していただく方が増加してきておりますが、アンケート回答を見ると、「近隣在住だが、施設について初めて知った」という方がまだまだいらっしゃるため、引き続き知名度向上に向けた取り組みを行ってまいります。	【評価できる点】 ・能、狂言に加え、様々な伝統芸能に関する事業を実施し、若年層も施設へ足を運ぶ機会に繋がるよう、工夫して実施したことを確認できます。アンケートにより、リピーターだけでなく、初めての来館者を約5割獲得できたことを評価できます。 ・近隣区の小学生を対象とした狂言教室を実施し、古典芸能を広める取り組みを実施したことを確認できます。また、小学生を対象とした「小学生向け狂言鑑賞教室」については、磯子区だけでなく、南区、港南区を含めた10校875名へ実施したことを評価できます。 【更なる取組を期待する点】 ・近隣在住にも関わらず、認知度が広がっていないということについて、ホームページの掲載方法やSNSなどの発信方法を工夫し、施設を認知してもらえるよう取り組んでください。 ・小学生向けの狂言教室の継続的な取組を評価させていただき一方で、中学生などの対象年齢を広げたり、狂言以外の古典芸能について、ワークショップの実現をすることが可能ななど検討してください。
	2	事業参加者数に対する初めて来館した人の数の割合(アンケート集計)(業務の基準で設定している定量指標②)	3割	4割	4割	4割	5割	4.9割	アンケートにて「初めて来館した」という方が平均で約5割に上った。		
	3	自主事業の実施回数(業務の基準で設定している定量指標③)	年間8回	年間8回	年間8回以上	年間8回以上	年間8回以上	年間13回	常に人がにぎわう施設となるよう、ほぼ月に1回は事業(各種講座を除く)があるよう調整した。		
	4	学校プログラムの実施校数(3校以上)(業務の基準で設定している定量指標④)	3校以上	3校以上	3校以上	3校以上	3校以上	10校	社会貢献事業として、弊社の予算にて実施。磯子区、南区、港南区の学校を招待して実施。		
	5	事業参加者、子どもたちや学校の声(アンケートやインタビュー調査)(業務の基準で設定している定性指標①)	実施100%	実施100%	実施100%	実施100%	実施100%	実施100%	学校プログラム事業実施後、参加校へアンケートを実施。事業に大変ご満足いただいた。		
	6	能公演、狂言等の伝統芸能に関する事業に加え、より多くの市民に施設に来館いただき、施設そして古典芸能にも興味を持ってもらうよう、コンサート等の幅広い事業を実施する(指定管理者が提案する指標)	実施	実施	実施	実施	実施	実施	クラシックコンサート、野点、怪談講談等実施。アンケート結果で「初めて事業に参加した」という方の割合が毎公演3~6割となった。		
評価項目		指標					実施状況		評価		
施設の使命を達成するための取組		指定管理者提案	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	実績	説明	自己評価	行政評価
使命2 能楽等に携わる人材を 育む	1	能楽等の技術を学ぶ講座や愛好者の交流ができる事業数(業務の基準で設定している定量指標①)	7講座	7講座	7講座以上	7講座以上	7講座以上	9講座	●能楽講座(喜多流、金春流、宝生流、4歳からの能楽) ●囃子講座(太鼓、小鼓、笛、太鼓) ●日本舞踊基礎教室	【成果】 ・日本舞踊、能楽講座(宝生流・喜多流・金春流・4歳からの能楽)、囃子講座(太鼓・大鼓・小鼓・笛)の9講座を実施。様々な講座を行うことで、広く伝統芸能の普及を図りました。 ・受講生のアンケートでは、講座内容についてご満足いただけており、今後も続けていきたいというお声をいただきました。一時的でなく、生涯の趣味として、今後も継続していただけるようお客さまのお声を聞きながら、引き続き事業を行ってまいります。 【課題】 ・能楽等、伝統芸能を嗜む文化団体はメンバーの高齢化により、活動が縮小してきている状況で、中には解散してしまった団体もあります。今後も文化団体が活動を続けられるよう、メンバー募集のサポートを行ってまいります。	【評価できる点】 ・伝統芸能に関する講座を継続して、幅広く実施したことが確認できます。また、継続的に講座を参加される方の割合が8割に到達したことを評価できます。 【更なる取組を期待する点】 ・近隣団体へヒアリングを実施し、施設での課題を収集したことを評価できます。今回のヒアリングでいただいた意見を参考にしながら施設ができる取組を実施できることを期待します。 ・団体構成員の高齢化により、やむを得ず解散してしまうということが他の文化施設でも確認されています。継続的に活動ができるよう、施設としても引き続きサポートできるように引き続き各団体へヒアリングをしてください。
	2	事業参加者数に対する継続的な事業参加者の割合(アンケート集計)(業務の基準で設定している定量指標②)	6割	7割	7割	8割	8割	8.0割	受講の登録はしていても欠席が多く、参加者が少ないという課題があったが、新型コロナウイルスが5類に移行したことから、徐々に参加者が戻ってきた。		
	3	アンケート回収率(業務の基準で設定している定量指標③)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	講座受講生にアンケートを実施。		
	4	近隣の能楽等を中心とした文化団体の状況把握(業務の基準で設定している定性指標①)	状況把握に努める	状況把握に努める	状況把握に努める	状況把握に努める	状況把握に努める	状況把握に努めた	利用者や近隣施設へのヒアリングにて状況把握に努めた。休館中の横浜能楽堂利用団体はアクセスの良い都内や川崎の施設を利用している模様。当施設は「アクセスの課題、小さめの舞台ということもあり、利用するにあたり少しハードルを感じる」というご意見をいただいた。		
	5	利用団体と活動場所を探している方の懸け橋となるよう、利用団体のメンバー募集等の支援を行う(指定管理者が提案する指標)	実施	実施	実施	実施	実施	実施	活動に興味を持っている方を利用者団体へ紹介したり、HPにて募集情報を掲載し、メンバー募集をサポートした。		



令和5年度 横浜市能楽堂 久良岐能舞台 指定管理者 業務計画表兼評価表

評価項目		指標					実施状況		評価	
施設の使命を達成するための取組	指定管理者提案	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	実績	説明	自己評価	行政評価
使命3 能楽等をはじめとする市民の活動の場となる	1 総来場者数(業務の基準で設定している定量指標①)	14,000人	15,000人	16,000人	18,000人	20,000人	14,180人	数年ぶりに久良岐まつりを開催できたこともあり、来場者数は前年比127%となった。	【成果】 ・自治会と共催している「久良岐まつり」を数年ぶりに実施。庭園では自治会による屋台が出演され、能舞台は一般開放し、文化団体の発表の場を提供しました。多くの近隣住民が参加し、地域の活性化に繋がりました。  ・簡易的に問合わせができるよう、メールフォームの内容を問い合わせたい項目ごとに対応した例文を入れ込む等の見直しを行いました。その結果、より気軽に問い合わせいただくことが可能となり、問合せ件数も増加しました。  ・撮影利用や、当施設を気に入っていただいたりピーターの利用者が増えたことで、例年よりも高い稼働率となりました。課題となっていた午前区分の稼働率も徐々に改善されていっております。  【課題】 ・近隣施設との連携で何かできることはないか、今後も館長会議等で話し合い、協力しながら地域活性化を図ってまいります。	【評価できる点】 ・新型コロナウイルス感染症により、数年間中止していた「久良岐まつり」について、自治会と協力し、実施が叶いました。「久良岐まつり」で能舞台を団体発表の場として設けたことは、使命3の能楽等をはじめとする市民の活動の場の取組として実施していると確認でき評価できます。  ・メールフォームをホームページに設置したことで、43件の貸館利用の相談を受けることができ、利用を検討している方が気軽に問い合わせができやすくなった取組であり、評価できます。  【更なる取組を期待する点】 ・多くの市民の方へアピールするためには、最近SNSでの発信が重要となっています。年齢層によっては、利用している媒体が異なるため、分析して取り組むようお願いいたします。ただ発信するだけでなく、インプレッション数などを確認し分析をしながら取り組んでください。  ・SNSやブログの紹介については、実施すると目標だけでなく、日常で発信できる可能数などを分析し、目標を立てながら実施してください。
	2 貸館利用率(業務の基準で設定している定量指標②)	能舞台:45% 和室:29% 茶室:9%	能舞台:48% 和室:31% 茶室:10%	能舞台:51% 和室:34% 茶室:12%	能舞台:53% 和室:36% 茶室:14%	能舞台:55% 和室:38% 茶室:15%	能舞台:49% 和室:30% 茶室:21%	例年、利用率の低かった和室・茶室はリピーター利用が増えたため、徐々に毎月安定した稼働率を確保できるようになってきている。		
	3 貸館利用の相談・広報支援件数(業務の基準で設定している定量指標③)	8件	10件	12件	14件	15件	43件	メールフォームをHPIに設置したことで、メールでの貸館利用相談が増加している。		
	4 利用者の状況についての現状把握(提案者が提案する定性指標①)	状況把握に努める	状況把握に努める	状況把握に努める	状況把握に努める	状況把握に努める	状況把握に努めた	ヒアリングにて状況把握に努めた。能楽等を中心とした古典芸能を扱う文化団体は高齢化により、メンバーが減少している状況。メンバー募集をサポートした。		
	5 幅広い利用目的でご利用いただけるというアピールし、多くの市民にご利用いただける環境を提供(指定管理者が提案する指標)	実施	実施	実施	実施	実施	実施	ブログやSNSで撮影利用やウェディング利用を紹介し、多目的に使えることをアピールした。		
使命4 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける	1 地域の施設・団体等と共催・連携して実施する事業数(業務の基準で設定している定量指標①)	1件以上	1件以上	2件以上	2件以上	2件以上	1件	自治会と協同で「久良岐まつり」を2日間実施。	【課題】 ・近隣施設との連携で何かできることはないか、今後も館長会議等で話し合い、協力しながら地域活性化を図ってまいります。	【評価できる点】 ・職員による日常点検を実施したことにより、事故件数を未然に防いだことが確認できます。修繕費予算の執行率が指標より大幅に削減したことを評価できます。施設でできる範囲については、対応したという姿勢を評価できます。  ・指定管理料以外の収入を得るために取り組み、指標よりも金額が上回ったことを評価できます。
	2 事業参加者数に対する磯子区・南区・港南区在住者の参加者数の割合(アンケート集計)(業務の基準で設定している定量指標②)	30%	33%	35%	38%	40%	47.8%	事業参加者の半数は近隣地区から参加している。		
	3 アンケート回収率(業務の基準で設定している定量指標③)	55%	56%	57%	58%	60%	82.2%	公演終了後、アンケートの記入を呼びかけることで回収率は80%以上となった。		
	4 地域の施設・団体等との連携状況のレポート(業務の基準で設定している定性指標①)	実施	実施	実施	実施	実施	実施	館長会議や近隣施設との日常的な情報交換を実施。		
	5 連携したことによる地域の声(インタビュー調査)(業務の基準で設定している定性指標②)	ヒアリング実施	ヒアリング実施	ヒアリング実施	ヒアリング実施	ヒアリング実施	ヒアリング実施	近隣在住でも当館に足を運んだことがない方がまだまだたくさん確認され、この場所を知る事ができて良かったという声があった。		
	6 地域の様々な団体や施設と連携し、事業の共催や、地域コミュニティの催しに積極的に参加することで、地域の文化芸術振興を推進(指定管理者が提案する指標)	実施	実施	実施	実施	実施	実施	磯子区近隣施設と連携したスタンプラリー事業に参加したり、自治会と久良岐まつりを共催した。		
評価項目		指標					実施状況		評価	
施設の使命を達成するための取組	指定管理者提案	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	実績	説明	自己評価	行政評価
使命5 持続可能性を高める施設運営を行う	1 施設の管理瑕疵に起因する事故件数(業務の基準で設定している定量指標①)	0	0	0	0	0	0	日常的な点検により、「事故を未然に防ぐ」運営を心がけた。	【成果】 ・職員による日常点検にて不具合を早期に発見し、小破修繕は自ら行うことで、修繕費の削減に大きく貢献しました。  ・指定管理料以外の収入の増加を図り、伝統芸能に関する書籍等の物品販売やコピーサービス、撮影協力金を得ることにより、約27万円の収入を得ることが出来、収支バランスの改善に努めました。  【課題】 老朽化が進んでおり、様々な不具合が生じております。日常点検をしっかりと行い、早期に対応することで、施設の長寿命化を図ってまいります。	【評価できる点】 ・職員による日常点検を実施したことにより、事故件数を未然に防いだことが確認できます。修繕費予算の執行率が指標より大幅に削減したことを評価できます。施設でできる範囲については、対応したという姿勢を評価できます。  ・指定管理料以外の収入を得るために取り組み、指標よりも金額が上回ったことを評価できます。  【更なる取組を期待する点】 ・能舞台に関する物品販売について、日頃からの収入等を分析し、来館者からニーズがあれば販売スペースを広げ、他の物品を追加で販売することを前向きに検討してみるのも良いと思います。
	2 法定点検等の実施率(業務の基準で設定している定量指標②)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	適切に実施。		
	3 修繕費予算の執行率(業務の基準で設定している定量指標③)	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	31%	庭園内スピーカー不具合による配線補修や緑台の補修、竹製テーブルの修繕等、発見した不具合については職員による小破修繕を実施したため、修繕費は大きく削減された。		
	4 自主的な収入を得るための取組と目標額(業務の基準で設定している定量指標④)	25万円以上	25万円以上	25万円以上	25万円以上	25万円以上	273,790円	物品販売やコピーサービス、撮影協力金等、指定管理料以外の収入の増加を図った。		
	5 能舞台、能装束、庭園等の適切な保存・管理(装束の虫干しを含む)(業務の基準で設定している定性指標①)	実施	実施	実施	実施	実施	実施	適切に実施。		
	6 施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング(アンケートやインタビュー調査)(業務の基準で設定している定性指標②)	実施	実施	実施	実施	実施	実施	年度末に実施。		
	7 管理運営費推移の要因分析(業務の基準で設定している定性指標③)	毎月実施	毎月実施	毎月実施	毎月実施	毎月実施	毎月実施	毎月収支状況を確認。		
	8 事故が起こらないように予防措置を行い、小破修繕は自ら行い、経費削減・施設や設備の長寿命化を図る(指定管理者が提案する指標)	実施	実施	実施	実施	実施	実施	日常的な点検により、不具合の早期発見を図り、小破修繕は自ら行うことで経費削減・長寿命化を図った。		

令和5年度 横浜市能楽堂 久良岐能舞台 指定管理者 業務計画表兼評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
施設の使命を達成するための取組	指定管理者提案	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する	1 安全安心な自主事業の実施	徹底した感染防止対策による事業の実施	人数制限の実施、定期的な換気、アクリルパネルの設置等、安心して参加いただける環境を整備	実施	玄関に非接触体温計の設置と消毒液を設置し、定期的な換気を行うことで感染症拡大防止に努めた。	【成果】 ・新型コロナウイルスは5類に移行されましたが、当館を利用されるお客さまは高齢の方が多くこともあり、引き続き消毒液の設置や定期的な換気、アクリルパネルの準備等、感染症対策を行いました。その結果、講座受講生等、感染症の不安から受講をお休んでいた方も徐々にお稽古に戻ってきていただくことができました。  【課題】 ・引き続き、安心してご利用いただける環境づくりに努めてまいります。  ・館内照明のLED化により、電気代はかなり削減されておりますが、電気代の負担軽減措置の終了や物価高騰を踏まえ、引き続き削減してまいります。	【評価できる点】 ・新型コロナウイルス感染症5類に移行されましたが、継続して、消毒液の設置や換気などを実施したことを確認できます。  【更なる取組を期待する点】 ・支出の部について、光熱費がLED化更新工事により、電気料金の減少が確認できました。また、清掃費についても芝刈り機を購入したことによりコスト削減をした工夫が確認できます。今後は、指定管理料以外での収入金額を増加できるか、助成金を得られるかなど収入面について検討してください。
		利用者への感染症対策	37℃以上の体温の方には来館をご遠慮いただく等 声掛けの実施、来館者名簿の設置	実施	来館者には手洗い・手指の消毒を推奨した。		
	2 利用者及び職員の感染症対策	職員への感染症対策	事務所の定期的な換気、密にならないようなデスクの配置、体調に異変を感じたらすぐに連絡し、バックアップに入れる体制を構築	実施	職員に発熱があった際や、新型コロナウイルスの濃厚接触者となった場合等は出勤させず、シフトの調整を行った。		
		館内設備における感染症対策	消毒液の設置、非接触体温計の設置、定期的な換気の実施	実施	事務所や諸室は定期的に換気をおこなった。		
	3 収支見込の考え方	収入見込について	リピーターのお客様が定期的にご利用いただけるよう、感染症対策を徹底	実施	高齢者が多く、感染症に対し慎重になっている方も多いため、引き続きアクリル板の設置や消毒液を設置し、安心してご利用いただける環境づくりに努めた。		
		支出見込について	光熱水費の節減や消耗品費の節約など、なるべく支出を抑える	実施	消耗品や職員による小破修繕、水道光熱費の節減等支出を抑える取り組みを行った。		

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
I文化事業	指定管理者提案	指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 能楽等を知り、親しみ、体験することができる機会の提供（使命1）	1 幅広い市民が能楽等の伝統芸能を知り、学ぶことができる事業の実施	□日本舞踊早わかり公演	1回	1回	日本舞踊基礎教室の新規受講生獲得のための公演。落語と日本舞踊のコラボレーション公演を実施。(5月20日)	【成果】 ・より多くの方に事業に興味を持っていただけるよう、日本舞踊の公演では落語も組み合わせた公演を実施。ストーリー仕立ての舞踊を行うことで、日本舞踊の新たな魅力を発見していただくことができました。アンケートでも97%の方が公演内容についてご満足いただける結果となりました。  ・「能楽体験大会」では、お客さまに実際に謡や仕舞、楽器を体験していただきました。能楽講座受講へ繋げるための公演ではありますが、「事情があり、定期的に講座を受講することはできないが能楽には興味がある」という方もいらつしやり、そのような方々にも伝統芸能に触れる機会を提供することができ、伝統芸能愛好家の育成に貢献しました。  ・能楽や狂言公演では、出演者による事前解説を入れることで、初めて見る人でも楽しめるよう工夫しました。「ろうそく能」公演は一般の能公演と比べ、他施設においても公演数が少ないこともあり、久良岐能舞台の目玉公演として、多くの方にお楽しみいただいております。  ・施設に興味を持ってもらうための事業として、NHK交響楽団によるクラシックコンサートや、庭園を活用した野点、横浜芸者による新春公演、講師による怪談講談と庭園お化け屋敷など様々な事業を実施しました。実施時期についても、それぞれ紅葉や新緑の季節、学校の夏休み期間等、より多くの方にお越しいただき、当施設の魅力を知っていただけるよう調整しました。10～70代以上と幅広いお客さまが事業に参加され、より多くの方に当施設を知っていただくきっかけを作り、知名度向上に繋がりました。  【課題】 ・新規受講生獲得の目的で実施している「日本舞踊早わかり公演」と「能楽体験大会」ですが、公演をきっかけに受講したのは3名のみという結果となりました。興味はあり、体験はしてみたいけれど、継続してお稽古を続けるのはハードルが高いようです。	【評価できる点】 ・各公演について、目標どおり事業を実施することができました。施設を認知してもらうための事業として、能楽等のみに絞らず、幅広い世代の方が能舞台に来館しやすい取組として、クラシックコンサートや庭園を利用したお化け屋敷などのエンターテインメントを取り入れ工夫したことが確認できます。  【更なる取組を期待する点】 ・幅広く公演をしている一方で、受講生の獲得が難しく、講座や団体へどのように繋げるか分析が必要です。講座のパンフレット配布だけでなく、各講座で実施する内容がわかるよう、ホームページでの掲載内容や各講座情報をSNSで発信するなど、興味、関心を得られる取組を検討してください。  ・交通アクセス等で難しい部分もある一方で、口コミで久良岐能舞台の存在を知った人もアンケート結果から伺っています。また、写真を複数掲載することができるSNSだと能楽を実施している施設が横浜市内にあることに加え、久良岐能舞台を知ることができるので、新たな手法として検討してみてください。
		□能楽体験大会	1回	1回	能楽講座の新規受講生獲得のための公演を実施。(7月15日)		
		□ろうそく能	1回	1回	年1回の久良岐能舞台ならではの、ろうそく能を実施。(11月4日)		
		□久良岐狂言会	1回	1回	年1回の狂言公演。重要無形文化財保持者である善竹十郎氏をお呼びして公演を実施。(3月9日)		
	2 地域の文化施設として市民に親しまれる施設となるため、施設に興味を持ってもらうための事業	□野点	2回	2回	春と秋に庭園にて野点を実施。(4月23日、11月23日)		
		□くらきナイト	1回	1回	久良岐能舞台の環境を活かした、地元の方・幅広い年齢層に向けた事業。庭園を使ったお化け屋敷と能舞台での怪談講談を実施。(8月19日)		
		□くらきワールド	1回	1回	新規顧客獲得のために実施。紅葉深まる時期に、一流演奏家による本格的なクラシックコンサートを実施。演奏前には曲の解説も行い、より楽しんでいただけるよう工夫した。(12月3日)		
		□新春 灯籠まつり	1回	1回	神楽や獅子舞等のお正月らしい公演を実施。(1月13日)		
	3 市民の能楽等への関心や理解を深める機会として、久良岐能舞台所蔵の能装束等の展示・公開の実施	□能装束展	1回	1回	所蔵能装束の虫干しを兼ね、所蔵能装束と、久良岐能舞台独自に作成した簡易装束、久良岐ウェディング提携先の白無垢等の婚礼衣装の展示を実施。(9月24日)		

令和5年度 横浜市能楽堂 久良岐能舞台 指定管理者 業務計画表兼評価表

2 能楽等に携わる人材を育み、市民の活動を支援することで、近隣住民を中心とした市民の文化芸術活動の可能性を広げる(使命2)	1 能楽等の伝統芸能のすそ野を広げる様々な市民向けの謡曲・仕舞・囃子講座等の実施	□「久良岐能楽講座 謡・仕舞」受講者数	初級:各流5名以上、中級:10名以上	★喜多流 初級 1名 中級 4名 ★宝生流 初級 2名 中級 10名 ★金春流 初級 2名 中級 4名	・伝統芸能愛好者の育成を目的とし、久良岐能舞台での能楽講座を実施。3流派での謡講座、仕舞講座を用意。(各流月2~3回実施)	今後も能楽等伝統芸能に触れる機会として、体験型の公演は続けつつ、講座のパンフレットを興味を持っている方のみではなく、全員に配布する等、受講に結び付ける事ができるよう、工夫をしていく必要があります。	
		□「久良岐能楽講座 囃子」受講者数	10名以上	18名	伝統芸能愛好者の育成を目的とし、久良岐能舞台での囃子講座を実施。大鼓・小鼓・太鼓・笛の4種の楽器の講座を用意。(各楽器 月1~2回実施)		【成果】 ・講座については、各専門家を講師とし、お稽古発表会にて適切に助言・指導を行いました。
		□「日本舞踊基礎教室」受講者数	10名以上	5名	伝統芸能愛好者の育成を目的とし、久良岐能舞台での日本舞踊の教室を開催。(月4~5回実施)		・利用者情報、活動継続に向けた情報の提供や支援として、HPに情報を掲載したり、興味を持たれて方へ活動団体の紹介を行ったりしたこと で、約4名の方を各団体へ御紹介することができました。
	2 利用者情報、活動継続に向けた情報の提供等による活動支援	■利用者情報の提供	実施	実施	施設HPにて利用者情報を提供し施設チラシを配架することで、活動継続に向けての支援を適切に実施。	・近隣区(磯子区・南区・港南区)の小学校を対象に、狂言鑑賞教室を弊社の社会貢献事業として実施しました。狂言の鑑賞・体験を行い、実際に能舞台上に足を運んでもらうことで、日本の伝統文化を学んでもらい、次世代育成に努めました。	
	3 利用者団体の会員募集支援など新たな愛好者の発掘等による利用者団体の活性化	■利用者団体の会員募集支援	実施	実施	施設HPに施設を定期的に利用する団体の会員募集の情報を掲載。	・近隣の浜小学校の野外活動にて久良岐公園・久良岐能舞台を発表のテーマに選んだクラスから相談を受け、施設に招待しました。久良岐能舞台の歴史や舞台の各名称や役割の説明、装束を見せたり楽器体験をしていただき、子供たちの学習活動をサポートしました。これを機に伝統芸能にも興味を持っていただけたので、後日、狂言公演にも招待し次世代の能楽愛好者の育成に努めました。	
	4 地域コミュニティを巻き込んだ、インリーチ事業等による、能楽等の伝統芸能の体験講座の実施	□近隣小学校を招待しての事業の実施	3日間	3日間	・社会貢献事業として、弊社の予算にてインリーチ事業実施。磯子区・南区・港南区の小学校(10校875名)を招待し、狂言教室を開催。 ・浜小学校の野外活動にて久良岐能舞台を発表のテーマに選んだクラスを施設に招待し、装束の紹介や楽器体験等を実施。	・横浜市芸術文化教育プラットフォームのアウトリーチ事業により、幅広い子どもたちへの能楽等体験事業の実施	
5 横浜市芸術文化教育プラットフォーム等のアウトリーチ事業により、幅広い子どもたちへの能楽等体験事業の実施	□受託校数	5校	6校	・狂言「柿山伏」の芸術鑑賞及び狂言体験講座を開催。久良岐能舞台のコーディネーター担当は12回目。 ・3月公演の「久良岐狂言会」に上記浜小学校の生徒を招待。	・横浜市芸術文化教育プラットフォームのアウトリーチ事業に伝統芸能コーディネーターとして参加し、次世代育成に努めました。伝統芸能のなかでも狂言鑑賞を希望する学校が多いため、久良岐能舞台で5校の学校を受け持ち、狂言の普及に努めました。		
6 次世代に伝統芸能を継承するために、能楽を身近に感じられるような講座を実施	□「4歳からの能楽」受講生数	20名	6名	次世代に伝統芸能を継承するための取り組みとして、子供向けの能楽講座を実施。	【課題】 ・日本舞踊、能楽講座において、新規受講生の獲得に苦戦しております。日頃より、利用者や来館者にヒアリングをしていると、「興味はあっても立地の面で難しい」というお声を多数いただきました。交通の便についてはなかなか改善できるものではないため、タクシー手配のサポートや、地元の方にターゲットを絞る広報等を検討してまいります。		



令和5年度 横浜市能楽堂 久良岐能舞台 指定管理者 業務計画表兼評価表

評価項目		令和5年度計画		実施状況		評価	
II 施設運営	指定管理者提案	指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 能楽等をはじめとした文化芸術の活動の場を市民に提供し、市民自らの活動を支援(使命3)	1 能楽等の伝統芸能に関する利用のみならず、その他の目的での利用についても貸館を実施	■幅広い市民に文化芸術活動の場を提供	実施	実施	婚礼前撮りやMV撮影、演劇、マンションの集會等、幅広く市民の方々に施設を貸し出した。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能に関する利用のみならず、撮影や演劇、集會等、より多くの市民に施設を貸し出しました。撮影利用は年々増加しており、利用料金収入の約3割を占めております。</li> <li>・舞台上で公演を行う際には必ず全館借りていただいたり、音の出る利用がある際には、他の部屋を借りる方に事前に案内をする等、トラブルが起きないように配慮いたしました。その結果、お客様同士のトラブルや、クレーム等はありませんでした。</li> <li>・茶室を利用する団体に当施設での自主事業「ののだて」にご協力いただいたり、発表の場を探している横浜芸者・里神楽・神代神楽研究会に事業に出演いただいたり、久良岐まつりにて能舞台を一般開放し、横浜市内・当施設で活動する団体に活動の場を提供しました。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当施設は防音の他にも、一つ一つの部屋が隣り合っているため、利用者同士、お互い配慮していただく必要があります。以前、和室や茶室を利用しているお客さまが廊下に机等を置き占領してしまうことがありました。その場ですぐに共有スペースであることを説明し、幸いトラブルに発展することはありませんでした。共有スペースも含め利用したい場合は、全館借りていただく等、ルールを利用者へご案内してまいります。</li> </ul> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直近の台風、大雨時の状況によっては、管理区域の木々が倒木していることが発生しています。利用者の安全を確保するとともに危険な場所については、職員間でも情報共有できる体制にしてください。</li> </ul>	
	2 お客様同士の騒音トラブルを防ぐため、調整を行う	■貸館利用者の施設利用を調整	実施	実施	防音の施設ではないため、楽器の演奏等、音の出る利用が入っている際には、後から他の諸室を利用されるお客様には必ず案内を行い、トラブルが起きないように調整した。		
	3 市民に発表・活動の場を提供	■久良岐能舞台で活動する団体に発表・活動の場を提供	実施	実施	・久良岐能舞台での能楽講座、囃子講座の受講生の研鑽会を実施。また、自主事業の「ののだて」では、茶室を利用している団体に協力いただいた。 ・「久良岐まつり」にて、能舞台を一般開放し、市民団体の発表の場を提供した。		
2 地域の様々な施設・団体・資源を有機的に結びつけ、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成に寄与(使命4)	1 施設と地域の相乗効果を発揮し、能楽施設に親しみ、伝統芸能の楽しさを味わうための事業の実施	□「久良岐まつり」参加者数	2,000名以上	629名	・自治会との共催で庭園・能舞台を利用した「久良岐まつり」を実施。 ・ここ数年、天候や新型コロナウイルスの影響で中止が続いていたため、来場者数は例年より少なかったが、近隣在住の方に足を運んでいただけた。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡村地区連合町内会と連携し、数年ぶりに庭園と能舞台を活用した「久良岐まつり」を実施しました。久しぶりの開催ということもあり、来場者数は例年より少なくはありましたが、近隣在住の方に足を運んでいただき、にぎわう2日間となりました。お祭りの屋台を自当てに来場した方も、能舞台での催しに足を止め、立ち見が出るほどの大盛況に終わりました。能舞台にて発表した活動団体の方々も、多くのお客さまに見ていただけたことで、モチベーションの向上につながったようです。</li> <li>・庭園の清掃や自主事業について等、サポートスタッフ及び磯子グリーンサポーターに久良岐能舞台の運営をサポートしていただき、市民協働の運営を推進しました。</li> </ul>	
	2 市民協働の視点による企画、運営、清掃等のサポートスタッフの活用	■市民協働の運営	実施	実施	・サポートスタッフとの協働運営 事業運営：自主事業実施時1回、庭園清掃：12回 ・磯子区グリーンサポーターとの協働運営 庭園清掃：5回		
	3 近隣施設等と連携しながら、公共施設として地域活性化のための活動を推進	■近隣施設との事業等の連携の実施	実施	実施	近隣施設との協働で実施しているスタンプラリーの参加し、近隣施設へ季節展示品の提供を行った。		



令和5年度 横浜市能楽堂 久良岐能舞台 指定管理者 業務計画表兼評価表

3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用(使命4)	1 施設環境を活かした居心地の良い空間の整備	■庭園スピーカーの活用、ベンチの設置等、市民の「憩いの場」となる取組を実施	実施	実施	タイミングを見ながら、庭園スピーカーで囃子の音を流したり、お散歩の際に休憩できるようなベンチを継続設置。	【課題】 ・近隣施設や地元企業との繋がりを活かして、事業連携等を進めてまいります。	
	2 散策の市民を施設に誘導するための取組	■保健所や貴市と相談の上、抹茶やお茶菓子の提供を検討	実施	実施	恒常的に提供することは難しいが、自主事業として、庭園を活かして春と秋に野点を実施。	【成果】 ・散策の方や公演の参加者等、庭園のベンチを利用される方が多くいらっしゃいました。気軽に休憩できるよう、毎日の清掃時にベンチも清掃しております。	
	3 古典芸能や施設に興味を持ってもらうための取組	■古典芸能に関する動画の配信	■お客様用に用意した装束の着付け体験を実施	実施	実施	久良岐能舞台YouTubeチャンネルにて動画を配信。 着付け体験ではないが、ウェディングご利用のお客さまに貸し出した。今後、インバウンドも踏まえて、実施方法を検討していく。	・庭園のスピーカーは「久良岐ナイト」に庭園お化け屋敷にてお経を流したり、能楽公演前に囃子を流す等、事業と連携し活用することで、事業の満足度向上につながりました。スピーカーを活用する際には、近隣住民にお声がけし、音量には十分気を付けながら流しており、これまでも音に関するトラブルは起きていません。
			■ライブ配信の対応	実施	実施	自主事業については、来場されるお客様を優先とし、ライブ配信は行わなかったが、利用者でライブ配信を行う方の配信の協力をした。	
4 より多くのお客さまに催事を楽しんでいただくための取組		■ライブ配信の対応	実施	実施			
3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用(使命4)	5 運営会議等によるPDCAサイクルの確立	■毎月の運営会議において問題点の改善討議と方針策定、実施	実施	実施	・茶室や和室の利用者が共用スペースである廊下に机や私物を置いて利用していたことがあった。今後の対応について運営会議で話し合い、職員全員で共通認識を持った。共用スペースを使う場合は、全館借りていただく必要がある旨、利用内容にアリングの際に案内することを徹底していく。 ・靴箱前に設置した手摺の位置があまり効果的ではないのではないかとこのことで、検証しながら最適な位置に付け替えた。 ・来館者対応等で手が離せない時でも、見学に来てくださった方に対応できるよう、久良岐能舞台の説明アナウンスCDを作成。見所に椅子を用意し、舞台を見ながら説明を聞いていただいている。	・春と秋の2回にわたり、庭園にて野点を実施しました。新緑を紅葉の季節ということもあり、多くの方に久良岐能舞台の魅力をアピールすることができました。10代～70代以上と幅広いお客さまが参加され、皆さまご家族・ご友人等とお越しになり、久良岐能舞台が市民の交流の場となりました。 ・お客さまから頂いたご意見については、職員で共有し、改善できるものは直ちに改善し、お客さまの満足度向上に繋がりました。	
	6 利用者アンケート、利用者との会議等による利用者ニーズの適切な把握、PDCAサイクルの実施	■アンケート集計後、職員等の関係者への回覧を行い、直ちに改善できる点はすぐに改善を行う	実施	実施	自主事業参加者を対象としたアンケートを実施。 ＜改善の具体例＞ ・前年度実施した久良岐ナイトにて、開演の時間をチラシに書いてほしいというお声を多数いただいたことから、チラシに開演時間(同日実施するお化け屋敷)とは別に、開演時間も記載した。 ・開演前にいらしたお客さまには整理券を配布しているが、会場の準備が整い次第、早めに番号をお呼びすることがある。整理券を渡す際に少し早めに施設前にお戻りいただくよう案内を徹底。	【課題】 ・久良岐能舞台独自に作製した「簡易装束」については、現在くらきウェディングにて貸し出しを行っておりますが、来館者向けの貸し出し等、今後も活用方法について検討してまいります。 【成果】 ・能楽等の伝統芸能の専門施設として相応しい職員育成のため、他施設にて能楽公演を鑑賞する等、能楽や施設に関する知識や意識の向上を図りました。	
4 運営組織の構造(使命5)	1 現場運営に最適な現場管理の実施	■能楽等の専門施設として必要な知見と実行のみならず、庭園に関しての知識を持って注意深く管理にあたり、職員全員が対応する	実施	実施	職員は能楽に関する知識を身につけるよう情報収集を行ったり、他施設での公演にも参加した。庭園の維持管理についても南部公園緑地事務所と連携しながら適切に実施。	・市民と共に久良岐能舞台を運営するという視点から、自主事業運営、庭園清掃においてボランティアスタッフとの協働運営を推進しました。 ・庭園に咲く花や苔、キノコ類等についてもご案内ができるよう、庭園にある植物を把握し、知識の向上に努めました。庭園を見回る際に植物も観察していたことにより、滅多に目にすることのできない「アオウツボホコリ」という変形菌を発見しました。SNSやブログで発信したところ、問合せを多数いただき、それを目当てに来館する方もいらっしゃいました。今後も様々な形で久良岐能舞台に足を運ぶきっかけを作っていただけるよう、知識の向上に努めます。	
		■大規模な事業や特別な支援が必要な場合は本社各部門から支援を行う	実施	実施	演出を伴う公演については、本社の舞台技術スタッフが入り、照明等の演出を行った。		
		■突発的に休みを取らなければならない職員がいる場合も、基本的にはシフトで調整し、バックアップが必要な場合は、業務管理担当や、近隣施設職員がサポートできる体制の構築	実施	実施	何かがあっても問題なく運営できるようバックアップ体制を整えた。		
	2 適切な人材の配置・職能	■本社統括責任者(業務管理担当):1名 館長(現場管理責任者、事業企画):1名 職員・主任(運営業務責任者):1名 職員(施設運営等):7名	配置	配置	適切な人員配置を行ったが、諸事情により1名欠員のまま、シフト調整・本社からのバックアップにより運営を行った。		
	3 主要人材の能力担保	■施設運営に関する研修や運営会議等を通じた能楽等の専門施設に相応しい認識の理解の促進や他施設での能楽鑑賞等を実施	実施	実施	自主的な能楽等古典芸能についての勉強に加え、他施設の運営方法や事業を拝見することで、古典芸能への理解を深めるとともに、当施設の運営にも活かしている。	・ろうそく能公演では、弊社照明スタッフによる演出を効果的に加えることで、より幻想的な世界を創り出し、お客さまの満足度向上に繋がりました。	
4 各専門家によるアドバイス	■能楽、日本舞踊・邦楽、古典芸能全般それぞれの分野について、事業企画、実施に関して専門家に適宜意見を求めるなど、専門施設としての一定の水準を確保	実施	実施	能楽講座、日本舞踊基礎教室、囃子講座の講師を依頼している各専門家の先生方に都度アドバイスをいただいた。	・諸事情により、欠員が出た際には、問題なく運営ができるよう、シフト調整・本社からのバックアップにて対応しました。		
		5 市民ボランティアの配置・活用	■公募による市民のボランティアスタッフ(サポートスタッフ)の事業補助、庭園清掃等の各分野において活用を推進 ■市民協働の安定的な推進のため、ボランティア保険を付保し、市民と施設の利益となるように実施	実施		実施	市民ボランティア登録者11名。庭園の整備や事業実施時のサポートをしていただいた。 横浜市社会福祉協議会のボランティア活動保険に加入。
5 その他施設運営に関する事項	1 休館日の届け出		実施	実施	適切に実施。	【課題】 ・今後も自主事業講座の講師にアドバイスを求めたり、能楽等に関する研修を重ねることで、伝統芸能に対する知識をよりいっそう深め、久良岐能舞台の職員としての能力向上を図ります。 ・職員の突発的な休みやトラブルがあった際にも対応できるよう、今後もバックアップ体制を構築してまいります。	
	2 許認可及び届け出		実施	実施	適切に実施。		
	3 目的外使用料の申請		実施	実施	適切に実施。		
	4 財務状況の確認		実施	実施	毎月収支バランスを確認。		

令和5年度 横浜市能楽堂 久良岐能舞台 指定管理者 業務計画表兼評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		自己評価	行政評価	
II 施設管理	指定管理者提案	指標	目標	実績	説明			
1 保守管理業務 (使命5)	1 日常点検等による、きめ細やかな施設管理に基づく予防保全の実施	■毎日の清掃時に各部分の目視による点検を行い、変化が見られる場合はより詳しく点検を行い、その状況に応じて対応	実施	実施	日常点検に基づく予防保全を適切に実施。	【成果】 ・職員による日常清掃で施設の外観を維持するとともに、清掃時には施設や備品についても確認し、不具合がないか点検を行うことで、早期発見に繋がりました。発見した不具合は、なるべく職員で修理し、難しいものについては専門業者へ依頼し、迅速に対応いたしました。  ・空調、設備等については専門業者に依頼し、年5回点検を行い、施設を安全にご利用いただけるよう努めました。  ・久良岐公園に繋がる山門は時間によって開閉の管理をしておりますが、雨天時は施錠する等、臨機応変に対応し、お客さまの安全に配慮しました。  ・庭園内を定期的に巡回することで、ハチの巣や鳥の死骸、倒木の危険を早期に発見することが出来ました。すでに倒木しているものや倒木の恐れが大きい場合は、カラーコーンを置いて近寄れないようにする等、通行人の安全に配慮し、南部公園緑地事務所と連携して迅速に対応することで安全管理に努めました。  ・防災対応として、磯子消防署の指導の下、消防・防災訓練を実施。有事の際にもすぐに動けるよう、継続して取り組んでまいります。  ・消防署指導の防災訓練のほか、設備点検を委託している会社指導の下、消火・通報・避難・火災受信器取扱の訓練を実施し、災害に備えました。今後も継続して取り組んでまいります。  ・地震や台風等の自然災害が発生した際には速やかに市に状況報告を行いました。  ・新型コロナウイルスが5類に移行したとはいえ、感染症自体がなくなったわけではありません。来館されるお客さまは高齢の方が多いこともあり、消毒液の設置や換気等の対策を引き続き行い、安心してご利用いただける環境づくりに努めました。  【課題】 ・庭園内の木の腐食が進んでおり、各所で倒木が発生している状況です。倒木の恐れがあるものを発見次第、南部公園緑地事務所へ連絡し、早急に除去作業を行っていただくようお願いしております。お客さまが安心して通行できるよう、注意して巡回してまいります。	【評価できる点】 ・庭園内を定期的に巡回を実施したことにより、ハチの巣や倒木など、来館者への危険を未然に防ぐ取組について評価することが出来ます。  【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、建物だけでなく、周辺環境について注意を払いつつ、施設管理をしてください。また、関係部署との連携をしつつ、方が一の事態に対応できる体制を日常的に確認するようにしてください。	
	2 定期点検による施設の維持管理	□専門業者による空調・設備等の定期点検の実施	年4回	5回	4月17日、7月10日、10月16日、1月15日、2月5日に専門業者による設備点検を実施。			
	3 施設・設備・備品等の維持管理・保全業務の実施	■業務の基準に従い、適切かつ確実に業務を実施	□年1回、物品管理簿の棚卸を行い、物品が適切に管理されているか確認し、市に報告	実施	実施			畳の張替え実施。車両の無断進入禁止の立て看板設置、竹林整備等、施設の維持管理を適切に実施。
			■庭園内門扉の適切な管理	実施	実施			9時に開錠し、16時30分に施錠。雨の日は階段が滑って危険なため門の開錠は行わないようにした。
	4 能舞台、能装束等所蔵品の管理実施	■能舞台の日常点検の実施、能装束の虫干し実施と定期的な防虫剤交換	実施	実施	・能装束を保管している鏡の間の除湿機を常時稼働。和筆筒内の水取り剤、防虫剤を適宜交換。年に1回能装束の虫干しを実施。 ・日常的に舞台磨き・白洲の清掃を実施。			
5 迅速かつ臨機応変な施設管理・修繕対応の実施	■不具合や破損等が発見された場合、小破修繕であれば職員自ら修繕し、経費削減に努める ■現に設置されている設備の場合は同一製造者の市内代理店等を基本とし、その他のものは横浜市内の業者を最優先に委託	実施	実施	清掃時や巡回時に建物・備品についてチェックを行い、軽微な不具合であれば自分たちで速やかに修繕を実施。 市内の業者から見積を徴収し、最低価格の業者に委託。				
2 環境維持管理業務 (使命5)	1 南部公園緑地事務所と連携した庭園内の安全管理	■安全で安心して利用できる久良岐能舞台の庭園環境を実現するため、所管の南部公園緑地事務所と緊密な連携を行い、快適な環境が保全されるよう対応	実施	実施	事故発生を未然に防止するため、定期的な巡回や清掃時に危機発生の可能性を日常的に点検し、危険箇所があれば直ちに南部公園緑地事務所へ連絡。			
3 保安警備業務 (使命5)	1 警備・安全管理業務の実施	■見回りの実施等、敷地全体の犯罪や火災等への警戒と事故等の未然防止活動と安全管理を実施	実施	実施	見回り：日中 適宜実施、夜間 1時間毎実施。			
4 防火・防災等 (使命5)	1 庭園内の安全管理、火災予防の実施、危機管理対策	■大きく成長した樹木の多い庭園を持ち、純木造の建物の施設であるため、安全管理や火災予防など、全体的な観点から危機管理対策を推進	実施	実施	・庭園内にある老化した樹木や警戒を要する枝、降雨時の滑りやすい階段や斜面で事故が発生しないよう、予防措置を実施。 ・災害の予測に基づく対応・対策・訓練を実施。			
		□事故等発生時の対応について、防災訓練を全職員で実施	年2回	2回	4月17日、7月10日に消火訓練・火災受信機操作・AED講習実施。			
		■久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に報告すると共に、全職員に周知徹底 ■久良岐能舞台の運営に則したマニュアルに基づいた安全管理	実施	実施	久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に報告すると共に、全職員に周知。更新があった際も、都度報告した。 久良岐能舞台の運営に即した安全管理マニュアルを随時更新。			
5 緊急時の対応 (使命5)	1 緊急時の対応	■緊急事態が発生した場合は、直ちに必要な措置を講じるとともに、文化振興課を含む関係者に対して緊急事態発生を通報すると共に、市と協力して原因調査を実施	実施	実施	防災訓練において対応措置の実施訓練を行った。			
6 その他施設運営に関する事項 (使命5・使命6)	1 新型コロナウイルスと共生する運営体制	■全職員の手洗い・除菌等の感染予防措置	実施	実施	全職員が手洗い・消毒等の感染予防を行った。			
		■職員に感染の疑いがあった場合には、出勤はさせずにPCR検査の結果が出るまでは自宅待機とする。その間はシフト調整を行い、人数が足りない場合は、本社職員、または弊社が管理する近隣施設からバックアップ人員を派遣 ■感染症対策のための備品の設置	実施	実施	体調の優れない職員がいた場合は、無理に出勤させず、シフト調整・本社からのバックアップにより運営を行った。 消毒・非接触検温計をロビーに設置。			
	2 施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	□甲種防火管理者	配置	配置	甲種防火管理者を選任し、磯子消防署に防災計画を提出。			

令和5年度 横浜市能楽堂 久良岐能舞台 指定管理者 業務計画表兼評価表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
Ⅲ収支	指定管理者提案	指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の考え(使命5)	1 利用料金・割引料金の適切な設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用料金を適切に設定</li> </ul>	実施	実施	横浜市能楽堂条例のとおり実施。	<b>【成果】</b> ・郵送やメールフォームによる利用予約受付及び現金書留・振込による支払方法を可能としております。遠方の方や事情により来館できない方でも申請しやすいよう、サービス向上に努めました。遠方の方や企業で利用される方から好評いただいております。  ・公演やチラシ、HP等で受講生募集を呼びかけた結果、6名の新規受講生を獲得しました。  ・講座の受講生は、新型コロナウイルスの影響で長期的にお休みする方もいらっしゃいましたが、受講時間をずらしてマンツーマンや少人数でのお稽古にする等の対策を引き続き行った結果、継続して講座に参加する方が前年度より2割ほど増加し、8割の方が毎月講座に参加しました。課題であった欠席者が多い問題は徐々に解消されていっております。  ・ブログやSNS等で施設や庭園や施設の写真を発信することで、撮影利用の促進に努めました。その結果、新規の撮影利用者が13件増加しました。  ・施設内電気のLED化、日常的な節電、国による軽減措置により、水光熱費は前年度より大幅に減少しました。前年比:66.1%  <b>【課題】</b> ・先述したとおり、講座の受講生の新規獲得が難しく、特に日本舞踊・能楽講座において、目標人数に届いておりません。引き続き、広報活動に努めてまいります。  ・LED化により電気料金が削減されましたが、近年の電気料金の値上げや軽減措置が終了することも踏まえ、引き続き節電に努めてまいります。  ・助成金については、応募条件を満たすことができず、応募が叶いませんでした。引き続き、情報収集に努め応募が可能なものがあれば、積極的に活用してまいります。	<b>【評価できる点】</b> ・新型コロナウイルス感染症の影響で講座受講を不安になられた方へ寄り添った対応を実施し、その結果前年度よりも講座の参加者が2割増加したことについて、評価できます。  <b>【更なる取組を期待する点】</b> ・ブログやSNSで施設や庭園を定期的に発信することにより、新規の撮影利用者を獲得することができました。特にSNSについては、幅広い世代が見る媒体手段であるため、閲覧数などの確認することや関連団体による協働の発信もできます。発信した結果の閲覧数や反響数などを確認し、久良岐能舞台を多くの方へ認知できるよう取り組んでください。  ・各助成金は、実施主体の狙いや重点事業などの特徴があるので、補助事業のメニューに則した事業や企画を申請し、引き続き、助成金を得られるよう取り組んでください。
	2 多様な支払方法によるサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>■窓口現金払い、現金書留、振込等、複数の支払い方法の運用</li> </ul>	実施	実施	遠方の方や企業の利用でも、支払しやすいように窓口現金払いのみならず、現金書留や振込等、複数の支払方法を可能とした。		
2 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力(使命5)	1 自主事業で実施している講座の受講生増加を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>■受講生の募集を早い時期に行い、チラシの配架やSNS・HPで呼びかけを行い、広く周知する</li> <li>■受講生に継続して事業に参加してもらうために、感染症対策の徹底、ポイント制度の運用を行う</li> </ul>	実施	実施	時期に関係なく常時募集を行った。チラシラックにも常時チラシを配架。HPでも講座・先生の情報・稽古日の情報を掲載した。  1回の講座で密にならないよう、受講時間をずらして実施する等の対策を行った。ポイント制度も引き続き実施している。		
	2 貸館の利用促進を図る		<ul style="list-style-type: none"> <li>■撮影利用での利用も促進</li> </ul>	実施	実施	コスプレ撮影やドラマ撮影、婚礼・成人式前撮り等、幅広く施設を貸し出している。	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域住民に向けてリモートワークでの利用も促進</li> </ul>	実施	実施	施設内で使えるWi-Fiを利用者へ無料提供している。	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用の少ない時間帯の割引制度導入を検討</li> </ul>	実施	検討	検討した結果、婚礼前撮りの撮影利用等で利用の少なかった時間帯にも予約が入るようになってきている現状を踏まえ、新規利用者の増加より、リピート利用者への適用が多くなり、減収に繋がると考え、導入を見送った。	
	3 物品販売の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者に向けて書籍や足袋等の物品販売を実施</li> </ul>	実施	実施	伝統芸能に関する書籍やDVD、白足袋を販売。		
	4 助成金の獲得を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>■支出の多い事業については、事業参加者増加を図るとともに、助成金も獲得することで、収支バランスがとれるように尽力する</li> </ul>	実施	実施	助成金申請の条件を満たせず、獲得できなかった。		
	5 「無駄を省くが無理をしない」という考えのもと、余分なコストの削減に努める		<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設や設備の小破修繕を自ら対応、備品も自分たちで製作できるものは手作りする</li> </ul>	実施	実施	小破修繕は職員で対応し、備品についても材料のみ購入し、自分たちで製作し、費用削減に努めた。	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>■内部資料は裏紙を使用し、資源を再利用する</li> </ul>	実施	実施	資源の再利用を心がけた。	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>■水光熱費削減に努め、新電力への切り替えやプランの変更を検討</li> </ul>	実施	実施	施設の利用がない時は消灯するなど、適切な管理を行い経費削減に尽力した。	
	6 自己点検・評価による効率的運営の実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者アンケート、事業参加者アンケート、事業ごとの事業実施報告書等による自己評価と点検により改善点を抽出し、改善を推進</li> </ul>	実施	実施	遅れ客の対応について、あらかじめ案内タイミングを確認するとともに、空席を確認しておき速やかに案内できる体制を整えた。	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>■日常的施設運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティング等を通じて検討し、直ちに改善を実行</li> </ul>	実施	実施	適切に実施。利用受付の際に確認すること・案内しなければならぬことを改めて整理し、誰が対応しても漏れないご案内ができるよう業務品質の均一化を図った。	



令和5年度 横浜市能楽堂 久良岐能舞台 指定管理者 業務計画表兼評価表

IV 各種計画書・報告書の作成及び業務評価	公募要項	指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
	1 日報、月報の作成・管理	□業務日報の作成	実施	実施	適切に実施。	【成果】 ・日報により職員同士、本社との情報共有を行いました。 ・月報を毎月のモニタリングにて市に共有し、成果や課題を報告いたしました。	【評価できる点】 ・日報により、職員及び本社との情報共有を実施したことが確認できます。今後も伝達不足がないよう、継続して取り組んでください。
		□管理運営月報をモニタリングにおいて報告	実施	実施	適切に実施。		
	2 事業計画書・事業報告書の作成・管理	□事業計画書・報告書の作成	実施	実施	適切に実施。		
	3 業務評価の実施	□自己評価	実施	実施	適切に実施。		
V その他	公募要項	指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 市の重要政策課題への対応	1 個人情報保護についての取組	■プライバシーマークの基準に則り、個人情報保護の徹底	実施	実施	・個人情報を含んだファイルを送付する際は、必ずパスワード付きで送信。 ・利用者の個人情報含む書類は鍵付きデスク等にて保管。	【成果】 ・個人情報保護については、公共施設として管理を徹底しなければなりません。年に2回全職員に研修を行い、定期的に管理方法について見直す機会を設けました。  ・自然豊かな環境を維持するため、毎日の清掃に加え、所管の南部公園緑地事務所と連携し、都度問題に対応しました。  ・人権研修を行い、人権尊重の考え方を改めて見直すほか、車いす等の身体的ハンディキャップがある方には施設までの導線を確保する対応をし、HPや掲載物について英語での表記も追加し、耳の不自由な方には筆談で対応する等、すべてのお客さまが平等にご利用いただけるよう対応しました。  ・施設の維持に関わる委託や管理に関わる物品の購入等は横浜市内の中小企業に優先発注するようにしました。  【課題】 ・多様性が求められる時代、施設に来館されるあらゆる方々が平等に気持ちよくご利用いただけるよう、職員の研修を積み重ねてまいります。	【評価できる点】 ・市の重要政策課題については、目標どおり実施したことが確認できます。引き続き、適切に実施するよう努めてください。  【更なる取組を期待する点】 ・個人情報のチェック体制については、どのように体制を整えるのが良いか職員間で必ず共有してください。特に繁忙時期については、処理時間の速さを求めるのではなく、正確性が大切ですので、その点も踏まえて検討してください。
		□全職員に向けて個人情報保護研修を実施	年2回	2回	パート含む全社員に実施。		
	2 情報公開についての取組	■「各年度の業務計画書」「各年度の業務報告書」「各年度の休館日一覧表」のホームページでの公開、請求があった場合は事務所窓口において開示	実施	実施	各情報をホームページに掲載。公開請求は特になし。		
		■施設の利用状況等、施設の貸出に関する情報は原則としてホームページに当該月の6か月先まで公開	実施	実施	施設の利用状況は6か月先まで公開。		
		■その他の開示請求については、事務所窓口で対応し、必要に応じて文化振興課と協議の上で対応	実施	開示請求なし	開示請求なし。		
	3 人権尊重についての取組	□人権尊重の考え方を施設内で共有する人権研修の実施	年1回	1回	パート含む全社員に実施。		
		■公正、公平な管理	実施	実施	適切に実施。		
	4 障害者差別解消	■当施設はバリアフリーではないが、障害を持つ方も平等に楽しんでいただけるよう、工夫する	実施	実施	目の不自由な職員がいるため、あらためて危険箇所等を確認。足の不自由な方が事業に参加する際には、事前に連絡をいただき、導線を確保する等サポートを行った。		
	5 男女共同参画	■職員は男女問わず雇用し、性別による待遇差はない	実施	実施	適切に実施。		
	6 環境への配慮	■ごみゼロルートへの参加、ごみの分別の徹底、クリーンエネルギーへの切り替え検討	実施	実施	適切に実施。		
7 市内中小企業優先発注についての取組	■委託、購入、どちらの場合も横浜市内の中小企業に優先的に発注	実施	実施	適切に実施。			



		評価	
		自己評価	行政評価
		<p>【成果】</p> <p>○使命1(幅広い市民に能、狂言その他古典芸能を広める)について                      ・様々な事業を展開することで、幅広い年齢層の方々に事業に参加していただきました。また、SNSやブログ等にて情報発信を行い、施設の知名度向上に努めました。結果、事業全体で「初めて参加した」という方が5割に上り、新規参加者の増加に繋がり、少しずつ知名度が向上していていることを実感いたしました。1回限りではなく、今後も継続して参加していただけるよう、魅力ある事業を実施してまいります。</p> <p>○使命2(能楽等に携わる人材を育む)について                      ・能楽等愛好者育成のために引き続き講座を実施し、51名の受講生が事業に参加しました。アンケートを見ると、講座内容には非常にご満足いただいております。「これが生きがいになっている」というお声もいただきました。引き続き市民の生涯学習活動を推進し、能楽等伝統芸能の普及に努めてまいります。                      ・能楽等愛好者の育成には、小さいころから伝統芸能に触れることが大切だと考えております。インリーチ・アウトリーチ事業を実施し、1303名の小学生に能楽や狂言の学習・体験の機会を提供しました。中には、これを機に伝統芸能に興味を持ち、他の能楽堂にも家族と一緒に足を運んだという生徒もおりました。小さいうちから触れていくことで、伝統芸能の敷居き次世代の育成に力を入れてまいります。</p> <p>○使命3(能楽等をはじめとする市民の活動の場となる)について                      ・岡村地区連合町内会と連携し、庭園と能舞台を活用して「久良岐まつり」を実施し、多くの方で賑わいました。今後も近隣施設や団体等と連携し、地域活性化を図ってまいります。</p> <p>○使命5(持続可能性を高める施設運営を行う)について                      ・庭園の管理については定期的に巡回・清掃を行い、南部公園緑地事務所と連携しながら美観と安全を保ちました。</p> <p>【課題】</p> <p>○使命2(能楽等に携わる人材を育む)について                      ・能楽や日本舞踊講座について、新規受講生がなかなか集まらないという課題があります。交通の便が良くないというお声もありますが、だからこそ”自然豊かな非日常的な空間を味わうことができる”という面もあります。一度通い始めていただく当施設での稽古を気に入っていただき継続して何年もお稽古されている方が多くいらっしゃいます。講座の体験希望者も増加傾向にあるため、そこからどう受講につなげていくか、引き続き検討してまいります。</p> <p>○使命2(能楽等に携わる人材を育む)、使命5(持続可能性を高める施設運営を行う)について                      ・講座受講生が目標数に届かないことから、収支バランスが厳しい傾向にあります。講座回数の見直しや新たな講座の開設等を検討してまいります。</p> <p>・施設の老朽化や庭園内の老木化が進んでおります。お客さまの安全確保のためにも、不具合や危険箇所を発見した場合は早急に対応してまいります。</p>	<p>【評価できる点】</p> <p>○使命1(幅広い市民に能、狂言その他の古典芸能を広める)について                      ・15歳～64歳の事業参加者の比率が増加しており、事業を工夫しながら実施していることが確認できます。                      ・事業参加者に対する初めて来館した人の割合が約5割となっており、指標を達成しています。今後も久良岐能舞台をさらに多くの方へ知ってもらえるよう取り組むことを期待します。</p> <p>○使命2(能楽等に携わる人材を育む)について                      ・能楽等の技術を学べる講座や4歳からの能楽のような子どもたちを対象とした事業を実施していることを評価します。</p> <p>○使命3(能楽等をはじめとする市民の活動の場となる)、使命4(文化芸術を媒介として地域の力を結びつける)について                      ・新型コロナウイルス感染症により実施できなかった「久良岐まつり」を数年ぶりに実施し、自治会と連携して実施できました。                      ・今まで、屋外で実施していた団体の発表の場を能舞台で実施したことで市民の活動の場になったとともに様々な利用目的で能舞台を利用できるというアピールができたことを評価します。</p> <p>○使命5(持続可能性を高める施設運営を行う)について                      ・職員による日常点検を実施し、修繕予算執行率を下げることができました。また指定管理料以外の収入を図り、指標を上回る収入を得たことは評価できます。</p> <p>○使命6(新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する)について                      ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、利用者の方々に寄り添って対応したことで、感染症の不安があり受講を見合わせていた方々が戻る環境としたことを評価できます。引き続き、利用者のお声をヒアリングしながら対応してください。</p> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <p>○使命1(幅広い市民に能、狂言その他の古典芸能を広める)について                      ○使命3(能楽等をはじめとする市民の活動の場となる)について                      ・多くの方へ市民の方へ久良岐能舞台の認知度を上げるためには、ホームページの掲載方法やSNSの発信方法が重要となってきます。ただ発信だけでなく、発信した結果、どのような反響があったかを分析してください。</p> <p>○使命2(能楽等に携わる人材を育む)について                      ○使命4(文化芸術を媒介として地域の力を結びつける)について                      ・団体構成員が高齢化により、止むを得ず団体が解散しているということが他の文化施設も含め発生しています。日頃から団体へのヒアリングを引き続き実施してください。</p> <p>○使命5(持続可能性を高める施設運営を行う)について                      ○使命6(新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を維持する)について                      館内照明のLED化及び芝刈り機を購入したことにより、光熱費を削減することができました。継続して歳出を削減しつつ、歳入を増やせる方法がないかを検討してください。</p>